



街角レポート水戸の街なかを変える「セントラルビル創業支援プロジェクト」～チャレンジショップが街を刺激する～

セントラルビル事始

セントラルは、平成16年の夏に水戸芸術館が開催した「カフェ・イン・水戸2004」の作品として登場したりノベーション物件の一つである。リノベーションとは、アートの力を借りて空きビルや空き店舗を改装し新たな価値を創造することによって需要を創出する手法である。アートの力で甦った築46年のセントラルビルを、今後の水戸の中心市街地の活性化に役立てることは出来ないか……。そのような発想からこのプロジェクトはスタートした。

店舗経営支援チームづくり

カフェ・イン・水戸開催期間中、8月も終わりに近づいたとある夜、WILLLの呼び掛けで水戸の街なかにある洒落た居酒屋に、30歳から40歳代を中心とする男たちが集まった。

これが、後の「セントラルビル創業支援プロジェクト」の店舗経営支援チームである。

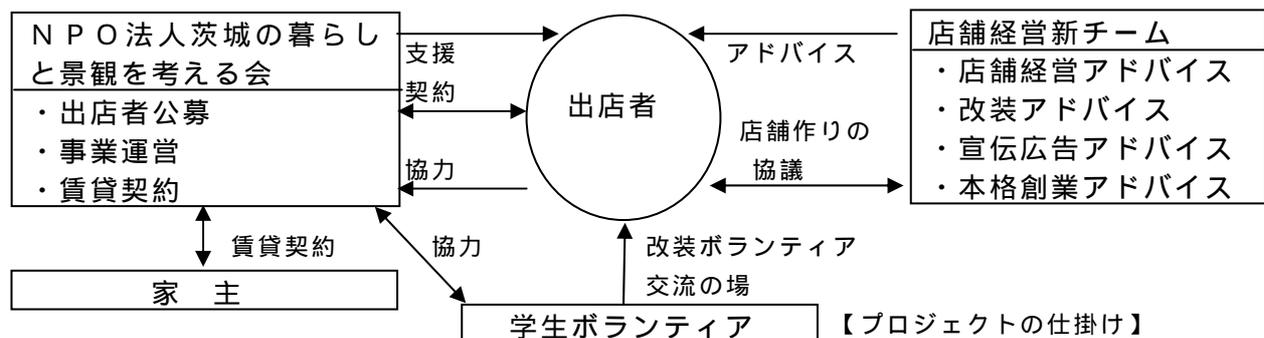
店舗経営のプロたちとチームをつくり、チャレンジショップ運営事業とリノベーション手法の相乗効果による水戸の街なか再生をめざし、それによって元気な商売人を育て、かつ美しい街なみ形成を実現しようと考えた。



【店舗経営支援チーム会議】

仕掛けづくり

プロジェクトの企画の中身は、まずリノベーションされたセントラルビルを、チャレンジショップとして再改装する。出店者は、新規創業を目指す未経験者が対象で、一般公募の上、一年半から三年の間、お店の経営に挑戦してもらう。同時に、店舗経営支援チームによるセミナーやアドバイスにより、それぞれのお店の経営指導を行ない、出店者たちをプロの商売人に育て上げる。さらにお店づくりの過程でリノベーションについても学んでもらい、街なかに本格立地する際には、この手法を活用し、美しい街なみ形成に貢献してもらうこととした。また、このプロジェクトの運営に必要な費用は、内閣官房都市再生本部の「全国都市再生モデル調査」の調査費、及び水戸市の「商店街空き店舗総合対策事業（チャレンジショップ運営事業）」の補助金を活用した。



出店者の募集

12月にプレス発表、同時に出店者の募集を開始したところ、実に54組もの出店意向を頂いた。地区別には水戸市内と水戸市外が半半ずつ。年齢的には30歳前後の若い人が7割を占めた。仕掛けをきちん

と用意すれば、若者たちの潜在的なエネルギーを表に引き出すことが可能である。業種的には物販と飲食とその他が3分の1ずつ。店舗経営支援チームによる選考会議の結果、独創性などの選考基準を踏まえ、男性2組、女性5組、計7組を選定した。

出店者の特徴

選定された出店者の特徴は、その店舗提案に、アートの付加価値がプラスされていること。単にランチだけではなくシネマや各種映像情報がセットになっている。カフェ・バーであるが水戸発の音楽レーベルが売られている。アクセサリー屋さんだけ店主自身がデザイナー。ギャラリー兼アトリエで自分自身のアート作品を販売するお店、など。

お店づくりとミーティング

1月の末から改装工事が始まった。出店予定者それぞれの希望に合ったお店づくりを進めるが、とにかく費用がない。学生ボランティアのフル稼働で、何とか費用的にも期間的にも間に合わせる事が出来た。

お店づくりと平行して、2月から4月上旬まで、出店予定者ミーティングを合計8回開催した。その中で、経営上の課題や営業時間、定休日などについて話し合いがもたれた。



【出店予定者とのミーティング】

オープン

4月16日、茨城県庁や水戸市役所、経済団体などからの来賓をお迎えし、オープン。

オープニングレセプションのあと、音楽とアートによるイベントを開催し、大々的にPRした。その反響は大きく、新聞、テレビ、ラジオ、またタウン誌など、30以上のメディアで紹介された。そして、それを見たたくさんの方々がセントラルビルを訪ねてきた。

地域社会からかなりの関心と期待を持たれてスタートを切ることが出来た。



【オープニングレセプション】

これから

現在、セントラルビル2階のギャラリーを中心に、水戸芸術館などと連携したイベントを仕掛けている。イベントとの相乗効果で、セントラルビル創業支援プロジェクトをより効果的なものとしたい。しかし、とにかくチャレンジショップである。7つの店舗、まだまだ素人の集団であるが、水戸の街なかの新しい芽を大切に育ててゆきたい。

このようなプロジェクトは、志の高いチームとボランティアがいれば、どこでも可能である。県内の多くの市民団体が、このような事業に挑戦して欲しい。



【バンドによる演奏会】



【FMぱるるんの公開生放送】

問い合わせ先 W I L L事務局 水戸市河和田町4471-45 事務局長 三上靖彦
電話・FAX 029-253-6540